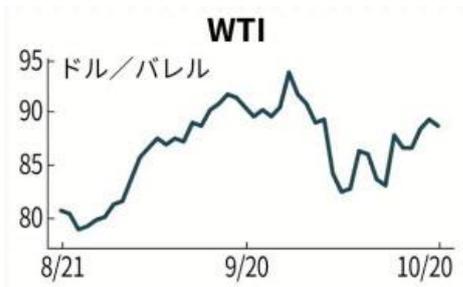




2023年 10月 23日 担当 アノジ

原油、中東情勢を警戒

今週の原油相場は中東情勢への警戒から引き続き上昇圧力がかかりそうだ。先週は米原油指標の WTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）が1バレル90ドル台と、イスラム組織ハマスによるイスラエル攻撃後の高値をつけた。



イスラエルはハマスの攻勢を強めている。ハマスを支援するイランの対応次第では米国がイランへの制裁を厳格化し、原油供給が減る可能性がある。ニッセイ基礎研究所の上野剛志上席エコノミストは「WTIは95ドルに到達する可能性がある」とみる。

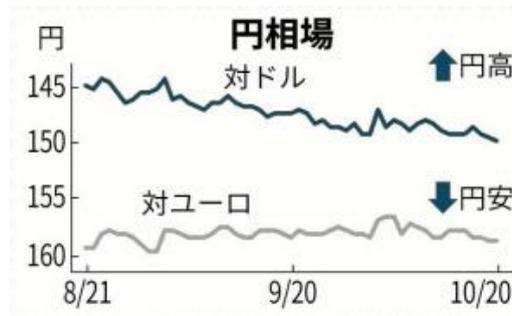
原油高による需要減退や米金利上昇が原油価格の上値を抑えるとの見方も多い。27日に発表される9月米個人消費支出などで米経済の強さが確認できれば金融引き締め長期化懸念から売りも出そうだ。金は国際指標のニューヨーク先物が先週1トロイオンス2000ドルにのせた。安全資産の金への需要は引き続き根強い。



2023年 10月 23日 担当 アノジ

〈為替〉円、膠着した展開続く

今週の外国為替市場で対ドルの円相場は値幅が限られそうだ。今月末の米連邦公開市場委員会（FOMC）や日銀の金融政策決定会合の開催を受け、今週は中銀関係者が金融政策について対外発信を控えるブラックアウト期間に入る。新たな取引材料に乏しく円相場の大きな動きは限定的だという見方が多い。



UBS SuMi TRUST ウェルス・マネジメントの青木大樹最高投資責任者は「日銀による政策修正観測や介入警戒感がくすぶるなか、円相場は1ドル=150円を挟んでもみ合う展開となる」と話す。

26日には欧州中央銀行（ECB）が理事会を開く。みずほ証券の山本雅文チーフ為替ストラテジストは「欧州の景気不安や中東情勢の不透明感が強まるなか、ECBは追加利上げをしづらい状況にある」と指摘する。対ドルのユーロ相場は下落圧力がかかりやすくなりそうだ。



2023年 10月 23日 担当 アノジ

尹大統領「エネ市場安定に役割を」 サウジ皇太子と会談

【ソウル=甲原潤之介】韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領は22日、訪問先のサウジアラビアで同国のムハンマド皇太子と会談した。イスラム組織ハマスによるイスラエル攻撃を契機にした原油価格の高騰を念頭に、サウジにエネルギー市場の安定に向けたリーダーシップを発揮するよう求めた。

韓国大統領府によると、尹氏は会談でイスラエルとハマスの武力衝突について意見交換し、人道支援などの必要な協力をすると表明した。

尹氏は国賓として21日からサウジを訪問している。会談でサウジとの経済関係の強化に対する意欲を強調した。サウジの未来都市NEOMなど大規模な開発構想に、韓国企業が参画できるよう要請した。

ポスト石油時代に向けて「韓国はサウジの最適なパートナーだ」と伝え、先端産業分野での協力も提案した。水素の生産や流通、活用などで協力を申し合わせる文書に署名した。食品や医薬品分野の連携でも覚書を結んだ。

会談後、サムスン電子や現代自動車など韓国企業の関係者が参加する投資フォーラムを開いた。尹氏は「先端技術を持つ韓国と、豊富な資源と成長潜在力を備えたサウジが手を組めば、強力な相乗効果を生み出せる」と呼びかけた。



2023年 10月 23日 担当 アノジ

ストップ！運転手不足ドミノ 賃上げ・値上げの次の手は

日経 MJ はサービス業 37 業種を対象に 2022 年度(対象は 22 年 8 月期～23 年 7 月期決算)の「第 41 回サービス業調査」をまとめた。新型コロナウイルス禍の影響が薄れ、34 業種が増収に。ただ、需要回復に人手の確保が追いつかず、事業に影響が出ている。トラックやバスなどドライバーの労働時間の規制が強化される「2024 年問題」ものしかかり、各社が対策を急ぐ。

「24 年の長距離引っ越しは、20～30%の値上げをしなければいけないかもしれない」。引っ越し中堅のアップル（東京・中央）の文字放想社長はため息をつく。

その原因は「2024 年問題」。24 年 4 月からドライバーの時間外労働に年 960 時間の上限が設けられるなど規制が強化され、トラック運転手らの不足がより深刻になると懸念されている。人手を確保するため、長距離引っ越しの下請け業者から、報酬を引き上げるよう圧力が強まっているのだ。

4 割超が受注抑制

ただ、引っ越し業界は既に人手不足が深刻だ。サービス業調査では 60%が 23 年 7 月時点で 1 年前より「人手が不足している」と回答。不足の割合は「10～15%未満」（44.4%）が最多だった。23 年春の異動期に受注抑制を行った企業は 46.7%で、24 年春も 40.0%が予定。23 年春には 46.7%の企業が見積額の引き上げを行い、24 年春も 53.3%が計画する。

アップルには東京圏で毎月 3000 件の引っ越し依頼があるが、数百件は断らざるを得ない状況が続く。インターネットでの自動予約システムを導入するなど効率化を図っているものの「より待遇のいい業界への転職が増えている。このままでは来春の引っ越しシーズンに対応しきれない」と文字社長は頭を抱える。

こうした状況を受けて、他社も対策を急ぐ。アート引越センターは人工知能（AI）が引っ越し料金の見積もりを自動で行うシステムの開発を始めた。利用客がスマートフォンアプリで自宅の部屋を撮影すると、独自開発した AI が家財量をもとに見積金額を計算し提示

する。従来は営業担当者が見積もりに対応していたが、アプリの導入で省人化につながる。

サカイ引越センターは運転免許を持たない学生にも採用枠を広げる傍ら、入社後の研修を手厚くすることで必要な従業員数を確保している。免許合宿への参加を支援するほか、首都圏や大阪府内などに研修用の一軒家を整備。廊下の幅などを狭く設計しており、家具や段ボール箱を屋外に運び出す実践的な練習の場を提供している。

ドライバーの確保により苦心しているのはバスやタクシー業界だ。高速バスはサービス業調査で、回答社数が10社以上の業界で「人手が不足している」と回答した企業の割合が81.8%と最も高かった。ハイヤー・タクシーも73.2%だった。

6割が50歳以上

博多駅や九州最大の繁華街・天神など福岡市中心部には車体2台をつなげた全長18メートルの連節バスが約15分間隔で走る。通常の路線バスの2倍にあたる130人を輸送できる。運行しているのは西日本鉄道。16年から試験導入しており、現在は13台が走る。大人数を一度に運べるため、人手不足対策として将来の増便も検討する。

路線バスや高速バスを手掛けるバス大手の西日本鉄道だが、運転手の高齢化と人手不足に直面しているのは他社と同様だ。在籍する運転手約2000人の6割が50歳以上で、現在の採用ペースを続けると35年に3割ほど不足すると試算する。23年10月1日には路線バスのダイヤを改正し、福岡市などの計32路線を減便・廃止した。グループ全体で約130人の運転手が足りていなかったところ、今回の改正で37人分の不足を解消した。

採用を強化するため、4月には路線バスや高速バスを担当する自動車事業本部に人財戦略推進室を設置。これまで福岡県を中心とした九州での採用活動が主だったが、関東や関西などの採用イベントなどに出展するなど広範囲から人を募る。

タクシー大手の大和自動車交通は23年度から初めて大学3年生向けのインターンシップや業界説明会を開く。10月から毎月1回開き、乗客の探し方などを考えてもらう。



原油 CIF 昨年 12 月 以来の高値

<p>財務省は19日、9月分の貿易統計旬間速報を発表した。原油CIF価格(運賃、保険料込み到着値)は、9月9649円で前月比6149円(8.4%)の大幅上昇になった。ドル建てが86ドル</p>	<p>9月 原油CIF7万9649円 昨年12月以来の高値</p>	<p>に4ドル36セント(5.3%)上昇。円ドル換算レートも1ドル146円48銭と4円12銭の円安ドル高となり、円建て価格を引き上げた。</p>	<p>来の高値。ドル建ては2カ月連続で5月(86ドル44セント)以来の高値に引き上がった。通関数量は1124.4万総だった。</p>	<p>9月下旬(21~30日)の原油CIF価格は、円建てが8万14</p>	<p>ドル建ては88ドル1セントに1ドル21セント(1.4%)上がった。7旬連続で2月下旬(88ドル1セント)と同水準になった。円ドル換算レートは1ドル147円10銭で、56銭の円安ドル</p>	<p>31円に前旬比1423円(1.8%)上昇した。6旬連続で昨年12月中旬(8万2263円)以来の高値をつけた。</p>	<p>高。期間中の通関数量は408.0万総だった。</p>
--	--	--	--	---------------------------------------	---	---	-------------------------------